

毎日新聞をご愛読いただきありがとうございます



とうぶ
まいにち

1月1日(日)は新聞製作が休みのため

2日(月)の朝刊は

休ませていただきます

毎日小学生新聞 スポニチ も休ませていただきます

なお、スポニチは主要駅の売店などで販売しています

1月1日(日曜日)
2023年(令和5年)

発行元
埼玉中部毎日会第3支部
発行所
埼玉県越谷市宮前1-5-19
(毎日新聞越谷東部販売所内)
TEL 048-967-4515
FAX 048-967-4516
編集長 飯嶋英好
発行部数 50,000部
発行エリア
三郷市・草加市・八潮市
吉川市・越谷市・松伏町

★ニュース速報は、毎日新聞のニュースサイトでご覧いただけます
URL: <https://mainichi.jp/>

1月2日のテレビ・ラジオ番組欄は1日の朝刊に掲載します

毎日新聞社・毎日新聞販売所

次号2月は
12日(日)
発行予定

第23回 草加宿七福神めぐり

草加市観光協会

スタンプラリー

開催期間 令和5年1月1日(祝)~7日(土)

プレゼント期間: 令和5年1月4日(水)~1月22日(日)
全箇所制覇した方には「草加市観光案内所(草加マルイ1階)」で景品をプレゼント(詳しくは中面を参照)

草加市恒例の草加宿七福神めぐりスタンプラリーが1月1日~同7日(午前9時~午後4時)、市内の寺社(所要約1時間半・距離約3km)で行われる。全箇所制覇した人には、市観光案内所(草加マルイ1階)で景品をプレゼント。寺社は回向院(高砂1)▽三峰神社(高砂2)▽八幡神社(同)▽氷川神社(住吉1)▽東福寺(神明1)▽谷古宇稻荷神社(神明2)▽神明宮(神明1)▽出世弁財天(松江3)。

黒澤明&山口隆志展
「乱」

1月12日~1月17日ギャラリー恵風

黒澤明監督の映画「乱」の絵コンテと越谷市在住の画家山口隆志氏(東京芸大卒)の絵画による「コラボ展」が1月12日、越谷市南越谷4-15-13、ギャラリー「恵風」で開かれる。

黒澤監督は、撮影前に絵コンテを描くことで有名。戦国時代を描いた「乱」でもシーンごとの絵コンテを残している。今回、「恵風」が所有する絵コンテ13点と、絵コンテからイメージした山口氏の作品15点=写真・右=を展示する。

11時~17時(初日14時から、最終日16時まで)。入場無料。電話048-989-1899ギャラリー恵風。



税のよろず相談所です

Life & Company Assist

税理士法人

L&Cアシスト

草加市住吉1-4-12-101

048(924)9244

おまかせください。お墓のこと!

—創業120余年の実績と信頼—



全優后
認定 全国優良石材店

石の心 篠田石材工業

●お問い合わせは ☎0120-14-4135 埼玉県三郷市番匠免1-74
URL <http://www.14-556.com/>
E-mail info@14-556.com



日の暮れを待って賑わいはじめた「虚空蔵尊」の縁日

祭りの里・秩父の年始祭として知られるのが秩父市上宮地町にある「虚空蔵尊」の縁日。秩父神社の鬼門除けと

ふらり秩父路 虚空蔵尊

2023・01・01



優雅な舞をみせるトコトコ丸(前方)
VS 頭突きが得意なアフロ(手前)

人気沸騰！ロボットプロレス 草加商工会議所まつり

ロボットプロレス「できんのか!」。昨年11月開催の草加商工会議所まつりで全国から駆け付けたロボットプロレスラーが華麗な技を連発、人気を集めた。
ロボット格闘技を主宰するのは、二足歩行ロボットに精通する会社員の小

俣善文さん(41)。事前に小俣さんが描いたシナリオに沿って参加者がプログラミング。リングで繰り広げられるショーを、実況アナンスと解説が熱く盛り上げる。「子どもにモノづくりの楽しさを与えるきっかけになれば…」と小俣さんは話す。

して室町時代に創建されたと伝えられる。地元では親しく「虚空蔵さま」と呼び、広く信仰を集めている。

国道140号に面した秩父警察署近くから続く参道には「焼きソバ」や「甘酒」「焼きイカ」などを売る数十軒の露店が並ぶ。裸電球の下に積まれた大小の縁起だるまの前では「千両」「万両」と威勢の良い声飛び交い値引交渉する買い手と売り手の絶妙な駆け引きの音が祭りムードを盛り上げる。

杉林に入ると長い階段が。息を荒くして九十五段を登り切ると本堂が見えてくる。一月十二日夕方から十三日午後三時ごろまで縁日は続く。初日の夜七時前後がピークで、階段上は動かないほどに。境内では縁起物の岡崎ひろし(元毎日新聞記者・秩父ネイチャークラブ役員)

「お宝飾り」などが売られ「シャンシャンシャン」と祝いの手打ちが福を呼び寄せる。

秩父は「秩父銘仙」で知られ「織物の町」として機織りが主産業の時代があった。市役所から一キロほどの「羊山公園」入口近くに若山牧水の「秩父町出はづれ来れば機織りの唄声つづく古りし家並みに」の歌碑が一九五五年に建立され、往時の繁栄を物語っている。

虚空蔵さまは養蚕の守り本尊のほか、学業成就、商売繁盛などの祈願者も多い。毎年福寿到来の一年になるようにに参拝者は手を合わせる。

世界で評価「草加の皮革」

紐育ADC賞2部門 東京ADC賞
トリプル受賞に輝く

草加市文化会館展示 (12月15日～)



仕立てたエゾシカ革の着物「THE L EATHER SCRAP KIMONO」
日本タンナーズ協会・撮影 井上佐由紀

普通は廃棄せざるを得ない革の端切れを山の稜線に見立て、水墨画のようなグラデーションを施し、仕立てたエゾシカ革の着物「THE L EATHER SCRAP KIMONO」。

デザイナーの篠原ともえさんの依頼で、そうか革職人会(伊藤達雄会長)が篠原さんと共に制作した作品が、最大級の苦勞したところは、着物づくりに必要な90パーツをいかに接合させるか。縫い合わせできないので、職人さんのひとりが「熱圧着」を思いついた。生地裏にテープを貼り、これを高温で圧着させる手法だ。

(一社)日本タンナーズ協会のウェブサイトに「革きゅん」のプロジェクトとして制作された。「今回のような着物の作り方は初めて。草加の職人の水準が高い証左」と伊藤会長。

総合建設業 新築工事 リフォーム 土木工事全般
池中建設株式会社
越谷市東越谷7-141 ☎048-964-3611
<http://www.ikenakakensetsu.co.jp>

ISO9001(品質)/ISO 14001(環境) 認証取得
明日の夢を創る
高元建設株式会社
代表取締役 高橋和彦
〒343-0811 埼玉県越谷市御殿町2番11号 TEL048-966-1661(代)
FAX048-962-1661 ホムページ <http://www.takamoto-cnst.co.jp/>



「さんふらわあ」

習慣で毎朝、ベランダに出て別府湾を眺めているが、時間によっては貨客船の「さんふらわあ」を出迎えることがある。別府と大阪を結んでいる定期フェリーで、夕方に別府湾から出航すると、翌朝早朝には大阪南港に到着。その日の夕方には折り返して、次の早朝には別府湾に入港する。2隻で運行しているのだが、大分県在住の若い人の間では、早朝に着いた大阪で、夕方までテーマパークや市内観光などで遊んで帰る、という人も多い。

“弾丸ツアー”と呼ばれる、この乗船は、往復料金が1万円からという価格。船の中で2泊できることから、大阪市内でホテルに泊まらなくて済むのが売りの。ただし、寝る場所は船内の大部屋。一応、男女別になっているが、見知らぬ人ばかりだと、一人で乗船するには少

しばかり勇気がいる。

弾丸ツアーではないが、当地に移住してから一度、このフェリーで往復したことがある。その日は土曜日で、夕方6時頃に乗船すると、ピアノとバイオリンの生演奏で迎えられ、気分が良かったものである。部屋はシングルルームを予約していたので、入ってみるとベッドとテレビが備え付けられていて、広さはビジネスホ



自宅前を横切る「さんふらわあ」。元旦の朝、乗客は東の空に昇る初日の出に、何を願ったのだろうか？

テルのシングルルームよりかは、狭かったように記憶している。船内にレストランはあるのだが、持参した弁当で夕食を摂り、展望風呂で心身をほぐし、展望デッキから暗い海を眺めつつ、旅人の気分浸りに浸っていたことが忘れられない。夜、ベッドに潜り込み目を閉じると、エンジン音と波の揺れが一層感じ、なかなか寝付けなかったが、復路はそれほど意識もせず寝たような気がする。

翌朝、サンライズとともに起き出し、船が大阪南港の岸壁に寄せるまで、飽きもせず周囲を眺めていたものだが、きょう元旦の朝、別府湾に着岸して来る乗客は、船内から東の空に昇る初日の出を、どんな気持ちで拝んだのだろうか。ウクライナ戦争に終りが見えず、コロナは未だに沈静化しない。経済はなんとか回り出したものの、物価上昇は止まらず、日々の生活防衛が激化している。こんな気鬱から脱したい、と初日の出に願ったのだろうか。それとも

鈴木 源柱(専業主夫・フリーライター)



八潮市が進めている令和8年4月に開校予定の新設小学校予想図

新設小学校の整備概要を発表 八潮市

八潮市は11月29日の会見で、草加市都市計画事業八潮南部西一体型特定土地区画整理事業地内で進めている新設小学校の整備概要を発表した。

9600平方メートル)を建てる。学級数は26学級(特別支援2学級を含む)。

同地内は八潮駅から約1キロと交通の便が良く、マンションなどの開発が著しい。このため現在、学童数が増え続けており、令和8(2025)年には既設の市立大曾根、大瀬両小で教室不足が必至。

特徴は、中川に比較的近いいため、校舎全体を高さ1メートルに盛り土。屋上のプールの水も災害時としてマンホールを利用した簡易トイレの水に使用できる。校庭には直線で長さ100メートル×200メートルのトラックが設けられる。

概要によると、両小の児童約800人を受け入れる予定の新設小学校。1万4600平方メートルの敷地に鉄筋コンクリート造り4階建ての校舎(延べ

教室と廊下の仕切りはオープンスペースにもでき、学年集会に利用が可能。

令和6年4月に着工、令和8年4月に開校予定。

正月に「なまず御前」をどうぞ よしかわ観光協会

正月は「なまず御前」でカンパイ! 吉川市内の酒類取扱店で地酒「なまず御前」を販売、人気を集めている。1本720ミリリットル、1477円(税込)。

市内の酒米「五百万石」を富山県の酒造で醸造。辛口の純米酒で、冷やして飲むのがオススメという。



本郷屋斎場

草加市市民福祉葬(市民限定) 実質0円

別館1日葬(ワンデー) 家族葬 29.9万円(税込)

本館1日葬(ワンデー) 家族葬 49.9万円(税込)

きれいな街づくり

エスシーエス株式会社

代表取締役社長 野崎 友義

埼玉県草加市青柳2-19-10
TEL 048-936-1234
FAX 048-936-3344
URL <http://www.scs-kk.co.jp/>

スライドドア車 食品リサイクル車 一般廃棄物収集運搬車



ミニ古民家を制作する木崎繁さん＝さいたま市内で。



昔懐かしい農家。井戸や洗濯物が再現される精緻さ。

男のロマン ミニ古民家づくり半世紀

さいたま市 古民家工房 きざきしげるさん

かやぶき屋根、物干しに干されたかすりの野良着、縁側で日向ぼっこのお年寄り。軒下には吊るされた渋柿や大根など…。

昔はどこにもあったが、いまは消滅した農家の原風景。これを精緻に再現した「ミニチュア古民家」を半世紀以上も作り続けている人がいる。

さいたま市見沼区東宮下471の7、ミニ古民家工房、きざきしげる(木崎繁)さん。昭和12(1937)年生まれで、85歳になる。

きざきさんは、旧岩槻市柏崎で18代続く農家の6男に生まれた。「薪を割り、風呂を沸かすのが私の仕事。母屋から20㍍ほど離れた井戸から水をくみ上げ、バケツを両手で下げて運びました」「末っ子でみんなか

らかわいがらました」。

ミニ古民家づくりを作りだしたのは、高校卒業後、大手保険会社の大宮支社に勤めていたころ。「解体前に過ごした実家の日々が懐かしく、どうしても再現したかった」。

元々手先が器用で、趣味の油彩画は旧岩槻市長賞を2回、埼玉県展も入選する腕前。キャンバスに絵を描くように、記憶を頼りに、独学で実家の家屋を3か月がかりで再現した。

以来、訪ねた飛騨高山や大内宿、記憶にある農村をミニ古民家として再現。その数は100個を超える。作品は女性にも人気があり、いまは工房に関連作品20点(有償)が残るだけ。

電話048・687・4766ミニ古民家工房。

〒342-0025 埼玉県吉川市中井三二一九
Tel 048-982-1409 fax 048-982-1424

代表 飯島輝男

新築工一般事
リフォーム

(有) 飯島工務店

新たな年を前に
地区ぐるみでスス払い
彦倉虚空蔵尊

500年以上前に建立された三郷市の古刹、彦倉虚空蔵尊で12月11日、恒例のスス払いがあった。

参加したのは、檀家や子ども会、保護者など33人。揃いのはんてん姿で本堂、山門、鐘つき堂を竹の葉や布で1時間ほど清掃に取り組んだ。母親の沖美里さん(38)と汗を流した長女で小1の碧さん(6)は「みんなで一緒にやるのが楽しい」。

ご朱印ブームから彦倉虚空蔵尊は元日より朱印のデザインを一新した=写真。初詣客やマニアから人気を集めそう。

子どもたちとスス払いをする石井秀誉住職



あしがき

2019年末から始まったコロナ禍。アレよという間に感染が広がり、取材先や友人、知人に感染者が続出している。

治療後、感想を聞くと「何も症状がなかった」という人もいれば、「風邪と全く違う。大変だから、感染しない方がいいよ」と助言してくれる友人も。

厚生省の昨年12月13日午前零時の集計では、国内の感染者数は2633万人。これは東京都と埼玉県、兵庫県の総人口に相当。死者数5万2000人は、県東部で例えれば、白岡市が消滅した計算になる。3年間と考えると、恐ろしいCOVID-19だ。

終息はいつか。ワクチン接種、免疫、薬剤とあるのが、大衆が「もつ、ええじゃないか」と社会活動を再開したときか。

編集長 飯嶋英好

新議長
松崎誠氏 吉川市議

吉川市議会は12月2日、新議長に松崎誠氏(65)＝5期・自民議員団＝を選任した。

創業昭和三年
珍来

中華麵製造卸と中華料理店の展開
関東一円で愛され続けて九十年!

株式会社 **珍来** 総本店

事務所: 〒340-0801 埼玉県八潮市八條 1512-1
TEL: 048-997-3726
URL: http://www.chinrai.co.jp